

福生三中だより

令和6年2月29日発行 No.13

学校教育目標

- 1 よく聞き、よく見、自分の考えをもつ生徒
- 2 ものごとをやり抜く強い意志をもつ生徒
- 3 責任を果たし、みんなのために働く生徒
- 4 美しいものを求め、豊かな心をもつ生徒

校訓 礼 節

春はもうすぐ

校長 植村 多岐

校庭の桜のつぼみが目立ちはじめ、季節は着実に春に向かっていくのを感じるこの頃です。令和5年度もいよいよ最後の月を迎え、3年生は卒業へ向けて、1・2年生は進級に向けて締めくくりの時期となってきました。とはいえ、まだ3年生にとっては、明日の都立高校入試の発表をひかえ、張り詰めた気持ちはまだぬぐい切れません。まさしく緊張の瞬間が待っています。

この1年を振り返って、3年生は意欲をもって進路の開拓を行ってきました。私はそんな3年生の面接練習の中で、ほぼ全員に「自分が3年間で成長したと思うことはどんなことですか？」という質問をしました。それに対し、多くの生徒が「1年の頃は自分のことしか考えられなかった。でも3年間の三中での生活をとおして、今は自分以外のことを考えられるようになった。自分は支えられていることが分かるようになり、周りに感謝できるようになった」と答えていたことが印象に残っています。そこには三中を、三中の仲間を誰よりも大切にしようとする3年生の成長の姿がありました。学校のリーダーとして全校を見事に引っ張ってくれた3年生。リレーに例えるなら、これこそ三中の先頭を走り続けてきた最上級生のもっている、最上級生のバトンの重みではないでしょうか。

今、3年生は進路決定の最後の壁に立ち向かい、悩み、不安に思い、最後まで全力を尽くそうとしています。3年生の状況を想像すると、長い3年間の道のりから競技場に入り、最後の1周を走っているあたりでしょうか。その奮闘ぶりを1、2年生とともに、全校でしっかりと見届けたいと思います。応援したいと思います。一番の応援は3年生が持って走ってきた、三中の伝統というバトンをしっかりと我々が受け取ることです。

「バトンパスの極意は、バトンを持つ者が次の走者に声をかけ、スピードを落とさないうち最後まで一生懸命走りぬくこと。バトンを受け取るものがその声に応え、共に走り出すこと」です。三中の生徒たちが、上級生と下級生で素敵なバトンパスを行い、三中での様々な活動を共に歩んできた喜びや未来への希望が感じられる。そんな記念すべき第50回目の卒業式を願っています。

最後に、保護者及び地域の皆様におかれましては、今年度の教育活動に対して、厚いご支援を賜り誠にありがとうございました。義務教育の目的は、自立であり、生徒が自分の力で主体的に生きていく力をつけることです。昨今あまりにも変化が激しく、生きていくことの全てを自己責任に帰すのは厳しい社会状況ですが、生徒の自立に向けて本校は取り組んできました。間もなく3年生が晴れて三中を旅立ちます。これからは地域の一員として、三中生や卒業生を温かく見守っていただきますようお願い申し上げます。



吹奏楽部

第57回東京都中学校アンサンブルコンテスト

銀賞おめでとう!

【銀賞】管楽四重奏

大和 姫奈さん 齋藤 由杏さん 久保 玲海さん 武本 結絆さん

剣道部

第8ブロック冬季剣道大会

おめでとう!

【第5位】森園 琴音さん

全国中学生人権作文コンテスト東京都大会

おめでとう!

【作文委員会賞】村野 颯真さん

【大多摩人権擁護委員協議会会長賞】井上 紋菜さん

2 学年校外学習 東京課題別研究 2/1 (木)

2年生は東京の文化・歴史・産業等について事前に学習し、2月1日(木)、班ごとに訪問・体験や確認を行いました。事後学習後、班ごとに成果を発表しました。



2 学年英語体験校外学習 2/6 (火)

2月6日(火)に2年生が、立川にあるTGGに行きました。英語交流体験を通して、多様な文化と価値観に触れ、半日コースではありましたが、貴重な勉強ができました。



七五三挨拶運動 2/13 (火)

今年度3回目の七五三挨拶運動を2月13日(火)の朝行いました。田園通り沿いを三中・五小・七小の児童・生徒・教員・地域の方で登校する児童・生徒に元気に爽やかに挨拶ができました。



体力向上チャレンジタイム アルティメット 2/13・16

13(火)16(金)に体力向上チャレンジタイムとしてアルティメットを行いました。今年も60名以上の生徒が参加し、楽しみながら基礎体力作りができました。

